

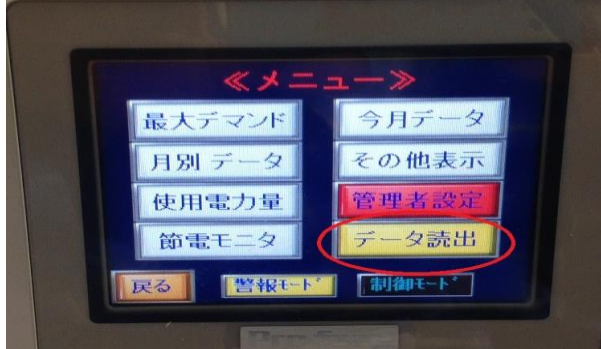


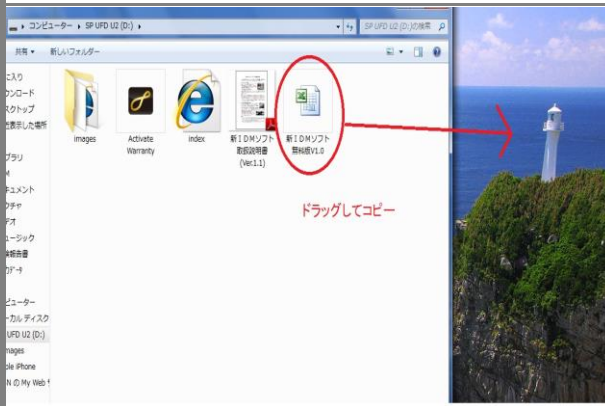


# 《簡易マニュアル NO.5》データ読出と分析ソフトについて

<p>①USBメモリの場所</p> <p>USBメモリはタッチパネル背面にあります。</p> <p>中にはデータが保存されています。</p>	<p>④タッチパネルでの一括読出</p> <p>事業所番号が入ったら、「データ読出」をタッチします。</p> <p>読出は少し時間がかかりますが、成功すると元の画面に戻ります。</p>
	
<p>②データ読出ページへ</p> <p>画面のトップページの左下隅を押し、メニュー画面を開きます。</p> <p>メニュー画面の右下の「データ読出」鈕をタッチしてください。</p>	<p>⑤ステータスエラーについて</p> <p>ステータスの下側の数字が「0 4」でない時はエラーです。</p> <p>タッチパネル背面の電源コネクタを抜き、リセットしてください。</p>
	
<p>③事業所番号入力</p> <p>事業所番号の下の数字をタッチしたら、テンキーが出てきます。</p> <p>1から98の任意の番号を入力してENTキーで確定します。</p>	<p>⑥USB取り外す時の注意点</p> <p>注意:0分前後、30分前後はUSBメモリにデータを書き込む時間帯 ですので、0分~2分、30分~32分はUSBを抜かないで下さい。</p>
	<p>・またUSBメモリの戻し忘れに注意して下さい。</p>

### ⑦分析ソフトをパソコンにコピー

USBメモリはデータとともに分析ソフトが入っています。  
デスクトップなどにコピーしてください。



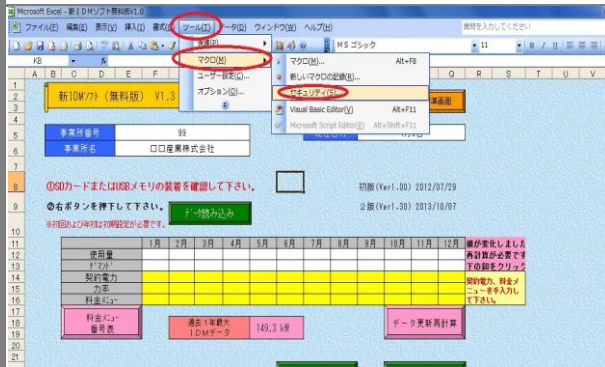
### ⑩初期設定をする

事業番号(任意)、年度、検針日、型式、事業所名などを記入  
します。KDMの形式は「4」です。



### ⑧マクロの設定

入っているエクセルによって、「マクロのセキュリティ」を「低」に  
するか、「このコンテンツを有効にする」をクリックします。



### ⑪初期設定補足

注意:分析ソフト原盤を利用せず(上書き保存せず)、必ず  
新しいファイルで保存してください。

・また年初にも新しいファイルを作成して下さい。

### ⑨初期設定へ

取り外したUSBメモリをパソコンに挿し、分析ソフトを開く。  
まずは初期設定をクリックしてください。



### ⑫分析ソフトでデータ読み込みをする。

分析ソフトメインメニューで「データ読み込み」をクリック。  
ソフトの詳しい部分はUSBメモリ内のマニュアルをご覧ください

